

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1431 号	氏名	前 めぐみ
学位審査委員	主 査	副 査	副 査
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 歯石はプラークリテンションファクターとして知られているが、歯石自体の為害性については不明である。本研究は歯石の結晶成分によって NLRP3 インフラマソームを介してマクロファージが産生するサイトカインが破骨細胞形成に及ぼす影響について検討したものであり、歯石の新たな一面を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 歯石刺激後のマウスマクロファージ培養上清中に検出されたサイトカインを ELISA で解析し、IL-1β が破骨細胞形成に促進的に働き、IL-18、IL-10 が抑制的に働くと予想した。そこで、培養上清中にリコンビナント IL-1ra を添加して骨髄由来マクロファージにおける破骨細胞形成促進作用が IL-1β によるものであることを確認した点、リコンビナントサイトカインを破骨細胞前駆細胞に添加し、破骨細胞形成におけるサイトカインの役割を確認したことは妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、歯石刺激後のマウスマクロファージは NLRP3 インフラマソームを介して IL-1β を産生したが、IL-1β は骨髄由来マクロファージの破骨細胞形成を促進したことから、臨床的にも歯石刺激が歯槽骨吸収に促進的に作用していると考えられる。それにより歯石の為害性を含めた歯周炎の発症機構がより詳細に明らかにされることが期待される。</p> <p>以上のように本論文は歯周病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			